



樋脇遊湯館が、九州・沖縄道の駅連絡会から優秀賞を受賞されました。これは、地元中学校・大学などと連携した新メニューの開発や、地域イベントの積極的な開催、外国人観光案内所認定の取得など、これまでの実績が評価されたものです。これを受け、7月14日(火)、指定管理者である同館の黒瀬一郎社長らが岩切秀雄市長を表敬訪問されました。

今後、さらなる成果をあげ、他の道の駅の模範となることが期待されます。



樋脇

道の駅樋脇遊湯館が

優秀賞を受賞



市内小・中学校の学習科目「ふるさと・コミュニケーション科」の授業で、中津小学校では毎年、3年生以上の児童がカヌー学習を行っています。今年も、甕大明神橋や鹿の子大橋を眼前に、基本的な漕法や海への恐怖心を和らげるための練習などの体験を楽しみました。学習を通して、子どもたちはふるさとの海の素晴らしさを再認識していました。

【記事・写真提供】=中津小学校



上甕

ふるさとの海で

カヌー学習



7月1日(水)、祁答院保健センターにおいて、祁答院地域デマンド交通「けどういん号」の出発式が行われました。

デマンド交通は、月曜日から土曜日までの運行(祝日の場合は運休)で、一部、市内横断シャトルバスとも接続しています。バス停を設けず、利用者が指定する場所で乗降できることから、利便性が高く、既に230人を超える方が登録されています。



祁答院

祁答院地域で

デマンド交通が始まりました

薩摩川内

広報さつませんだい 2015

No.261

広

報

お知らせ版

7月18日(土)・19日(日)、特産品直売所祁答院ロード51で、「ほおずき市」が開催されました。吊り下げられた鮮やかなオレンジ色のほおずきが、夏の訪れを告げていました。また、地元のサトイモを使った「さとっこあげ」などの特産品の販売もあり、会場は多くの買い物客でにぎわいました。



祁答院

夏の風物詩 「ほおずき市」開催



7月15日(水)、薩摩川内市企業連携協議会主催の「学校と企業の情報交換会」が開催されました。これは、市内における就業機会の創出を図ることを目的としたもので、参加された学校・企業の担当者間で熱心な情報交換が行われました。



学校と地元企業の マッチング事業を開催